Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿九號

目次

社説

新年を迎へて

二對の請願書

癈兵の慰問忘る可からず

旭川支部と陳情書

聖書之醜業婦　山室軍平作

時事數件

小林富次郎氏と故夫人の略歴(國の光轉載)

一枝の水仙花　百合子

青年欄

山梨青年部

新年之感

婦人矯風會錄事

本部、麹町、芝、大阪、堺、前橋、青森、横濱、羅府

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一部(前金)　金六錢

六部(前金)　金三十五錢

十二部(前金)　金七十錢

(郵券代用一割増)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十一年一月廿四日印刷

明治四十一年一月廿五日發行

發行兼印刷人　本多テイ

編輯人　小崎チヨ

發行所　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地　婦人新報社

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町三十一番地

No. 129.　　JANUARY 1908.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

May be a Happy and Properous New Year!

Two Petitions.

The wounded soldiers must ever be remembered.

The Asahigawa Local Society and the Petition.

Bad women in the Bible.

Current events.

Brife lives of Mr. Kobayashi and his late Mr. K.

"Suisen" given to the prisoner by a little lovely heart.

Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Head quarters, Kojimachi, Shiba, Osaka, Sakai, Maibashi, Aomori, Los-angels.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 31, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum. Single Copy 6sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百二十九號

（明治四十一年一月廿五日）

社。告。

四十年度婦人新報代未納の御方は會計の都合有之候間恐入候へども大至急御送附被下度切に願上候也

東京市京橋區蓬萊町三十一
婦人新報事務所

社説

新年を迎へて

除夜の鐘を合圖に古い年は其務を果して大急に立ち去りますと新らしい幕が開かれまして希望や空想や色々の計畫の色に輝いた可愛らしい少女が三百六十五枚の大きな卷物を携へて顯はれて參りました、今の今まで利欲の爲にいそがしかつた人も債鬼に責められて悲しみに沈んで居つた人もお正月は幾つ寢ると來ますなど云ひて喜んで居ました小供も皆な變つた人の樣に新年御芽出度うなどゝ申して木も草も人も新らしい望の光に醉はされて居るやうに思はれます、一年の計畫は元旦にありとか申しまして大人も小供もそれ相應に新らしい決心をいたします、彼の少女が持つて居ります卷物は眞白なしかも一點の汚もしみもない者に社會の人はどんなものを記しませうか一家の主婦は美はしい家庭の團欒の書をかきませうか、私共矯風會員は果してどんな記錄で此卷物を埋めませうか、諸婦人樣の御心裡には既に種々の御計畫が立ちました事で御座いませう、理屈を申しますれば別に新年であるからとて普通の日とは異つては居りません唯自然の現象が少し異うばかりで何にも改めて太陽曆の一月一日に希望や決心や計畫を立てるには及ばぬやうで御坐いますが兎角人は忍耐の乏しいもので同じ樣な場合や事柄にあきたりま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た其ればかりでなく別に奮發と云ふものも起りませんでだん〳〵優柔な生活に陷るやうになりますから時々何にか變つた樣に思ふ者を造つて其都度其者が新らしいやうに感じてマー活氣のある生活をいたすのであると私は思ひますそれで御座いますから家でも國でも過去一年間の計算のくゝりを付けましてまた新らしく一月元旦から其年の計算始めをするので人間も一年間にいたしました事柄やまた自分の心を痛めました事などを全く去る年と共に葬つて今年こそ實のある平和な生涯を送りたいと思ふのは自然の人情であると思ひます

私共が洗禮を受けて今迄の罪惡を皆キリストの十字架に葬りました時に自分のこの朽つる身體も新らしくなつたやうに感じまして、此神樣をやとす聖き宮は大切にいたさなければならぬ、よく保護しなければならぬと思ひますさういたしますと、私共がこの新らしい年を迎へて其れと同時に去年の悲みや失望などを全く忘れて今年こそ、一日〳〵と明日は今日よりもよくありたいと云ふ決心で旺に働きたいと決心いたす事は大なる特權であると思はれます、私共は個人として家庭の人として、また社會の一員として今まで怠つて居りました事やまた深く〻氣に留めなかつた事は勿論今一層高尚な思想を持つて凡てにあたりたいまた仕とげたいと決心いたしました、而して殊に矯風會々員としてまた團體として今年は今までよりも三倍も四倍も優れた働をいたしまして其使命を全うしたいと決心いたしました、社會に於ては今迄私共の觀察の屆かない處に私共の主義が行はれなければならぬ事は決して一ッ二ッでは御座いません一般の風俗が華奢淫浮に流れて參りました事やそれにつれて色々の罪惡が行はれる事などまた一家の政をなす重き責のある人々のうちには隨分如何はしい人々が多くて兎ても國民の豫望を滿足せしむる人々の至つて少ない事などは常識を供へて居らるゝ人々の認めらるゝ處で御座いますがまた家庭に於ても大に改良いたさなければならない事が澤山にあると思ひます鈍れる私共の心が新曙光に照らされて生氣を享け今年こそはお互樣に手を携へて主義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の爲めに充分働きたいもので御座います、諸姉樣、力なしと申されますなまた、時なしと、金なしと、位置なしと、人を漁る大任をキリストから托されました人々は誰れでしたでせう、知慧の卓越れた學理にくわしかつたまた道德家であると稱へた學者、パリサイサドカイ人で御座いましたでせうか、實にカリラヤ湖邊に朝に一本の竿と小舟を携へて靜かな湖面に網をたれ夕に謠を歌ひつ、また目には一丁字もない海士でありました事を記憶していたゞきたいので御座います、

新らしき酒を古き皮袋に入るゝものあらじ

二對の請願書

二對の請願書と記るさば諸姉樣は既に御承知になる事と存じます、一方は在外賣娼婦取締法請願、他は一夫一婦の請願書競馬熱に犯されて狂體を演じ相場などに手を燒いたりする事にいそがしい代議士諸君の御耳にはまだ〳〵私共の此の正義の聲が達せんので御座いませう紳士の會合であるべき會合に正義の士が少くないのであるか將た私共の聲が餘りに弱いのでありませうか、二十二議會の間常に惟いほごと共に煙となつてしまつたのでせうか、思へば實に殘念な事で御座いますが、私共の熱心は決して二十二年三年で撓む者では御座いません、私共の精神が國民の胞底にしみ行くまでかれても〳〵共聲を勵まして高くいたします、今年もまた議會に提出いたしましたが成不成は私共の知る處では御座いません、が私共は失望いたしません庭の片隅に笑める一株の菫花は風に後られて床しい匂を私共に送ります、

廢兵の慰問忘る可からず

（廣島支部の美擧）

●廢兵慰藉會　廣島婦人矯風會第一回廢兵慰藉會は昨日午後二時より廣島偕行社に於て開かれた矯風會と云へば吾人の耳に新たなる名であるが同會は昨年四月の創立で基督信者四十餘名の婦人より成立つたのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る隨つて會員も少數であるが其可憐なる者に對する同情に就ては敢て他に讓らぬ事は會員の其熱誠に徴するも明かなる事で開設以來市內在住百有餘名の廢兵は殆んど同會の慰問に接せぬものはない併し聞く所に依れば近時廢兵を慰問するものは皆無の有樣で同會員の至りしときなどは本人は勿論家族隣人までも其好意を謝して居るさうだ今回同會が慰藉會を開くも一方には既に忘れられたる廢兵を世人の記憶から喚起せしめんとの考へも籠つて居るのであらう▲廢兵は午後零時半頃から支脚又は人車等にて參會を始めたが其數約七十名門前に日章の大國旗を交叉し玄關に紫の幔幕を張り同所に受付ありて同情深き會員に扶掖され會場に入り又會場には正面に大なる生花を施し其前方に白布を以て覆ひたる卓子數脚を置き其兩側に椅子を羅列せられてあり此處にも亦會員の附添ふありて熱心に勞はるに對しては癈兵も定めし會員の熱情に感泣したであらう斯て癈兵の參會し終つたと思ふ頃より式は開かれた▲先づ「君が代」の奏樂ありて一同起立敬禮、次に會長長安都留子夫人開會の辭を陳べ尋て高東市長の演說あり次に外山國彥氏の獨吟、木越師團長の演說等あり終つて奏樂次に癈兵總代の答辭、次に奏樂、報告あり終つて癈兵を撮影し夫より現役將校夫人より寄贈に係る模擬店蕎麥、うどん、そば屋等に案內せられ將校婦人の接待に嬉々として腹皷を打つもあり夫から再び入場折詰を配付せられ茲に餘興として山田紫絃氏の筑前琵琶劍舞、狂言及び現役將校夫人の寄贈に係る數百種の福引があつたが見渡す所固より癈兵の事なれば一人として滿足のものなく目の盲ひたるもの片眼のもの、片手を失ふたるもの、片足を斷たれたもの、頤を失ふたもの、顏面全く舊形を留めざるもの等形容萬狀であるが而も君國の爲に斯の如きを致したかと思ふと一見哀心から同情と崇敬の念を起さざるを得ぬのである而して最後に車料金の配付があつて散會したのは用意周到と謂はねばならぬ是日師團長からは金十圓を寄贈したとの事である▲憶起せば日露戰役は曠古の大戰たると共に又慘酷なる戰であつたが此種の癈兵は我市內のみに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ても百數十名あり全國を通じては頗ぶる多數に上るとであらう然も我軍をして榮譽ある大捷を得しめたのは一に此等勇士が君國あるを知つて其身を忘れ嚴寒酷熱を凌ぎ硝煙彈雨の中を潜り有らゆる困苦缺乏に耐へ勇戰猛鬪したるに基因するのであるが世人は今此等不幸不運なる癈兵に對して之に酬いる丈の手段方法を盡して居るであらうか就中其當時死生を共にした指揮官たり、上司たり、友僚たりし陸軍軍人は如何に此等癈兵に對しつゝあらうか癈兵の多くが慰藉に渇しつゝあるを見ても吾人は世人又は陸軍軍人が癈兵に對する其同情の比較的に乏しきかを異しまぬを得ぬのである、尙當日奏樂した市内音樂隊は上田男爵夫人の寄贈であつた。

○陳情書と旭川支部

旭川市に於て新遊廓設置の許可に對して矯風會は勿論の事苟も人道を重じ國家の平安と幸福を希ふ正義の士が晝夜西奔東走して反對に力を盡しましたが當局には少しも其心を察せず遂に新遊廓が當市尋常中學校を離る一丁程の處に設けました其後の當市の腐敗墮落はまた案外でありまして兎ても正義の士等は默視して居る事が出來ませんで江原素六先生の手をへて矯風會青年會幷に市會の人々が記名調印して二十三議會に請願書を提出いたしました而して旭川支部よりは二三名同志の姉が上京して貴衆兩院に奔走される事に決しました、本部にても充分盡力いたすつもりてあります何とぞ全會員諸姉の御熱祈を切望いたします

○聖書の媿業婦（其二）

山室軍平君

基督の時代になりましてから一層男女の間の德を綿密に說かれて居るやうに思ひます、一夫一婦の德を說かれたことは勿論である、それと同時に離婚といふものを輕卒にしてはならぬと說いて居り、又人間として不義を犯してはならぬのみならず、山上の說敎に於て基督が思うて居る人に心の中を聞かさうと思つても其人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は既に姦淫罪を犯した者と同様である、まだ三十歳の若盛りの基督が澤山の人々を集めて清い徳を説いた、それで啻に説くばかりで無く、若し爾の眼が爾を罪に陷すならば切拔いて捨て丶仕舞へ、爾の手が爾に罪を犯さすならば手を切つて捨て丶仕舞はぬと詰り天國には這入れぬ、此滿足な身躰を以て地獄に陷る人となると言うて居る、といふのが基督の嚴重なる眞面目の言葉であります、私の知つて居る人、殊に救世軍中に居ります人て間違つたことをした人が有ると私は常に基督の言を嚴重にもうします、部下の者に私は何時でも聖書に此通り眼が惡い事をしたら眼を拔いて仕舞へ手が惡い事をしたら手を切つて仕舞へとあるといふことを示します、獨り基督その人ばかりでは無い、今の日本て神を敬はない我儘をやつて居る人に此嚴重な誡を此通り當篏めますと滿足な身躰の一箇處も無くなる人が多いのではあるまいかと思ひます、澤山聖書の言葉を引張つて居る迄もございませぬが、聖書の或處に基督は私共の五尺の身躰を「神の殿」と名づけられて居る、神様の靈を胸の中に宿して實際の行を爲すべきものである、其「神の殿」を婦人の爲に辱めてはならぬといふ風に教へたことも見えて居ります、聖書の中で殊に私共に目覺ましく見へますのはヨセフが十七歳の時に親兄弟に離れし遠國へ參つて漸く自分の地位を得掛つて居る時に主人の妻から良からぬことを持掛けられて謝絶すれば其地位を失ひ牢へ打込まれる、生命も奪られて仕舞ふかも知れませぬ、アラユル不利の見へて居る中に神様を敬うて、何故神の前に大なる罪を犯すやと言つて其罪を避けたといふ記事は必ず之を讀みます人に目立つて見へる事柄のやうであります、少くとも一般の世の中、昔ばかりでは無い今も同じ事、隨分澤山の人が男子の方に於ては勝手放題な事をいたして、唯、婦人にのみ純潔な世渡りをする事を要求するといふことは聖書の中何れの處に説いて居るか、是は必ず注意して見るべき所と思ひます、聖書に於て其一句だも私共が見附けることが出來ないのは今申す樣に聖書は純潔な徳を説くものでございますから、總ての

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不義な濱れた行ひをする事は絶對に拒絕されて居る、是も亦注意して見るべきことで聖書の敎ヶ眞面目に採つて參りますならば一人の夫が一人の婦人に侍かれます以外に何をも許されないといふ事を見なければならぬ、其心は今時も亦行はれます、妾とか何とかいふ者を貯へ或は藝妓酌婦といふやうな者に戯れ或は又道ならぬ交をするといふが如きは、悉く聖書が之を拒絕し之を禁止して居るものであることは申す迄も無い事であります、さうして聖書の中にはさう云ふ道理を說いたばかりぢや無い事實に於て示して居ります、例へばサムソンの如き非常な勇悍な人物が居つて何千人の敵を討つたといふのであります、品行の足らぬ爲に敵に捕はれて眼を引拔かれたといふ事があります、或はソロモンのやうな世界に比類の無いやうな智者が矢張り其點の注意が足りませぬ爲に自分の身を誤つて自分の家を覆して居るといふやうな記事をも聖書中から發見することが出來る、隨つて聖書の中に娼妓、遊女といふものは絕對に許さない樣に見ゆる敎が澤山に滿ちて居るのであります、今聖書の文句を一々讀上げることを好まない一つ二つチョイと短いのを引きます、

「遊女の唇は蜜を滴らし云々また其道は定らねども自ら之を知らざるなり、」

私が今此言葉を讀みます時に眼の先にチラ附くやうに覺へて居ります、英國の「鬨の聲」に面白い繪がある、婦人が自分の眼を抉つて男子の手を握り同じやうに眼を抉られた男子と千仞の谷底に落ち掛つて居る所が描いてあります、其行道は定かならぬ、何處にどんなにやつて居るのか知りませぬけれ共底に陷ちて居る者は世の中に甚だ多いのであります、それから、遊女の存在を拒んである聖句もあります戯れてはならないといふことを強く敎へあります此事は聖書の中で聞かなくても私共とても、隨分實際の社會から見てさう有る可き筈で、學ぶことの出來ない譯ぢや無い、日本の昔の言葉でも女衒の事を「クツワ」と申します、「クツワ」を漢字で書くと忘八とあります、何故忘八と書いて「クツワ」と訓ませるかといふとそれは仁義禮智、忠

信孝悌といふ八つの大事を一つも殘らず欠いて居るから夫故に忘八と稱するのであるといふことであります又支那臺灣から歸つた人が申すのにあの邊の支那人は自分の娘に身賣をさせます者のことを泥龜と申します、自分の娘に身賣をさせるやうな者は人間社會の陸の上を歩いて居ることの出來る筈ぢや無い、泥の中に這入つて居る龜のやうな者だといふ義でありませう、さう云ふ者が當跡を絕たぬといふことは誠に殘念な事と思はれます、

先頃新聞で見ますると本當か嘘か存じませぬが、神樂坂の或待合では學生の御客を拒絕するといふことを議決したといふことが出て居りました、どうしてかといふと學生は拂ひが惡い、拂ひが惡いのみならず肝癪を起して刀を以て暴行するといふやうな事が度々あつていけない、それに附加へて曰く親から望を囑されて居る者が躰を誤つたり何かするといふ方も氣の毒だといふので兎に角拒絕するといふことになつたといふ、私思うに面白い事である、どう云ふ意味からでも拂はない、學生といふ者は其人等の言ふ如く、親から望を囑されて出て居る若い身であるから之を拒絕するのは誠に結構であります、待合であるか遊廓であるか藝娼妓に戯れる者さう云ふ關係に身を置きます人は其爲に身を誤らない者が何處に在るのでございませうか、その爲に身を誤る者は唯學生丈けと看做すことは出來ないでありませう。而して醜業者、待合營業者、さう云ふ人間は何人ありますか、自分の營んで居る事業が他の人にどう云ふ關係を及ぼすかといふことを眞面目に考へるならば、一日たりともその營業を續けることは出來ない筈であります、

(未完)

○時事

○醫藥としての酒精減少　近來アルコールは醫藥としても無効なること明白となり工業用品としての外殆んど何等有益の點なきものとなりたるが今英國エヂンブラの有名なる醫師ブレイキー氏の語る所に據れば氏が學生たりし頃醫者は肺炎患者に多量のブランデイを飲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

用せしむる外何等の藥品を用ひず死亡率は驚く可く過多なりしとの事にて當時(千八百四十年)王立病院にては三千八百人の患者に六千七百二十圓のアルコールを使用したるが千九百六年には同病院にて一萬一千人の患者に對し千九百四十圓のアルコールを使用したるに過ぎず即ち醫藥としてのアルコール使用量は十分の一以下に減じたるなりと云ふ(萬朝報)

○ナイチンゲール女史の榮譽　十一月十九日英國帝王よりオーダー、オブメリット勳章を授けらる

○英國婦人の暴狀　被撰擧權を得んとして英國婦人の一團は主宰邸を襲撃するやら公開演說の席上大立廻をなす等其暴狀言語に絕せりと謹愼なる英國婦人に之の事を見る吾等は轉た寒心にたへざるなり

○小林氏と故令夫人(國の光轉載)

實業志願の青年必讀の逆境談

◉禁酒家の出身は酒造業　現今禁酒實業家としては、日本無双と唱ふるも敢て過稱に非ざるライオン主人小林富次郎氏が其出身は酒類釀造業であつたとは誰れも容易に信用が出來まいと思ふが、事實は左の通りであるから致し方がない、

氏の原籍は越後であるが、出生は武州浦和在の與野にして、五六百石程の酒造家小林喜介氏の次男であるので、維新前より時々酒類の取引で江戶に往來し、明治の時代になりても引續き酒屋渡世に餘念なく從事されしが、其頃東京に於て一時兎と豚の賣買が盛に流行した事がありて、氏も亦不圖此の投機熱に襲はれ、掛先きの集金は兎と豚とに入り揚げ、一攫千金の暴利は遂に氏をして首も廻らぬ大失敗に陷らしめたるこそ、誠に是非もなき次第であつた、

◉塞翁が馬の乘初め　氏は此の失敗で債鬼の包圍攻擊を蒙り、到底生れ故鄉に落着て居る譯にも往かず、餘儀なく萬事を實兄淸藏氏に負はせて一時其原籍地たる越後國中頸城郡柿崎村に立退いた、ところが之れが不幸中の幸となつたのは、即ち酒造業といふ罪な商賣から全然足を洗ふ事が出來たのである、扨て氏は再び國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信孝悌といふ八つの大事を一つも殘らず欠いて居るから夫故に忘八と稱するのであるといふことであります又支那臺灣から歸つた人が申すのにあの邊の支那人は自分の娘に身賣をさせます者のことを泥龜と申します、自分の娘に身賣をさせるやうな者は人間社會の陸の上を歩いて居ることの出來る筈ぢや無い、泥の中に這入つて居る龜のやうな者だといふ義でありませう、さう云ふ者が當跡を絕たぬといふことは誠に殘念な事と思はれます、

先頃新聞で見ますると本當か嘘か存じませぬが、神樂坂の或待合では學生の御客を拒絕するといふことを議決したといふことが出て居りました、どうしてかといふと學生は拂ひが惡い、拂ひが惡いのみならず肝癪を起して刀を以て暴行するといふやうな事が度々あつていけない、それに附加へて曰く親から望を囑されて居る者が躰を誤つたり何かするといふ方も氣の毒だといふので兎に角拒絕するといふことになつたといふ、私思うに面白い事である、どう云ふ意味からでも構はない、學生といふ者は其人等の言ふ如く、親から望を囑されて出て居る若い身であるから之を拒絕するのは誠に結構であります、待合であるか遊廓であるか藝娼妓に戯れる者さう云ふ關係に身を置きます人は其爲に身を誤らない者が何處に在るのでございませうか、その爲に身を誤る者は唯學生丈けと看做すことは出來ないでありませう。而して醜業者、待合營業者、さう云ふ人間は何人ありますか、自分の營んで居る事業が他の人にどう云ふ關係を及ぼすかといふことを眞面目に考へるならば、一日たりともその營業を續けることは出來ない筈であります、　（未完）

○時事

○醫藥としての酒精減少　近來アルコールは醫藥としても無効なること明白となり工業用品としての外殆んど何等有益の點なきものとなりたるが今英國エヂンブラの有名なる醫師プレイキー氏の語る所に據れば氏が學生たりし頃醫者は肺炎患者に多量のブランデイを飲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

用せしむる外何等の藥品を用ひず死亡率は驚く可く過多なりしとの事にて當時(千八百四十年)王立病院にては三千八百人の患者に六千七百二十四圓のアルコールを使用したるが千九百六年には同病院にて一萬一千人の患者に對し千九百四十圓のアルコールを使用したるに過ぎず即ち醫藥としてのアルコール使用量は十分の一以下に減じたるなりと云ふ(萬朝報)

○ナイチンゲール女史の榮譽　十一月十九日英國帝王よりオーダー、オブメリット勳章を授けらる

○英國婦人の暴狀　被撰擧權を得んとして英國婦人の一團は主宰邸を襲擊するやら公開演說の席上大立廻をなす等其暴狀言語に絕せりと謹愼なる英國婦人に之の事を見る吾等は轉た寒心にたへざるなり

○小林氏と故令夫人（國の光轉載）

實業志願の青年必讀の逆境談

◉禁酒家の出身は酒造業　現今禁酒實業家としては、日本無双と唱ふるも敢て過稱に非ざるライオン主人小林富次郎氏が其出身は酒類釀造業であつたとは誰れも容易に信用が出來まいと思ふが、事實は左の通りであるから致し方がない、

氏の原籍は越後であるが、出生は武州浦和在の與野にして、五六百石程の酒造家小林喜介氏の次男であるので、維新前より時々酒類の取引で江戶に往來し、明治の時代になりても引續き酒屋渡世に餘念なく從事されしが、其頃東京に於て一時兎と豚の賣買が盛に流行した事がありて、氏も亦不圖此の投機熱に襲はれ、掛先きの集金は兎と豚とに入り揚げ、一攫千金の暴利は遂に氏をして首も廻らぬ大失敗に陷らしめたること、誠に是非もなき次第であつた、

◉塞翁が馬の乘初め　氏は此の失敗で債鬼の包圍攻擊を蒙り、到底生れ故鄉に落着て居る譯にも往かず、餘儀なく萬事を實兄淸藏氏に負はせて一時其原籍地たる越後國中頸城郡柿崎村に立退いた、ところが之れが不幸中の幸となつたのは、即ち酒造業といふ罪な商賣から全然足を洗ふ事が出來たのである、扨て氏は再び國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

元から出京して何か仕事はあるまいかと、犬も歩行けば的に、凡そ二ヶ年間もブラ〳〵流浪して居る内、明治十年漸く向島小梅に鳴春舍といふ石鹼業の合名會社があったので、一時雇人として仕込み右の石鹼を市中に販賣する事に勤めて居つた、

◉抑も是が小林氏の廣告の手始め　此の石鹼事業で略ぼ將來の見込みが立ッたので、氏は舊債始末旁た又候越後に立戻り、猶氏が幾分か所有して居た家財を賣却する事に着手した、然るに其頃は今日と違ひ未だ新聞に廣告等の便法が無かつたので、氏は四分板に其次第を認め之を竹の先きに釘附け村內二三ヶ所の地に建て廣告の代用にした、即ち其文面は左の通りである、

覺

一家具競賣仕候　但し今日より三日內

明治十年十月〇日　小林清藏

此の清藏とは前文令兄の名前にして蓋し富次郎では其地方で未だ通用しない爲めであらうと思ふ、夫れで此の廣告板は今日猶ほ同氏が越後の庫の天井に紀念品として張付けてある由、扨て此の競賣廣告が抑も今日東京を始め日本全國は勿論、世界に迄知れ渡り、黑海の「オデッサ」や南阿の「タランスワール」迄から注文が來る程になッた小林ライオン廣告の手始めであッたのだ、今日は廣大美麗な廣告看板を指して、氏の親戚知友が人々に吹聽して誇りと爲すに引換へ、其昔越後で四分板の廣告を掲げた時は村內の親戚縁者が外聞が惡いとて、其當座は顏出しも碌に爲なかッたとは是れ又無理ならぬ次第である。

◉失敗々々又失敗　夫れから氏は再び出京して此度は例の向島鳴春舍に幾分かの資本を入れ兎に角株主の一人となり愈よ石鹼事業に從事せんとする折柄、商況の不振に搗て加へて其頃關係せし家祿奉還官林拂下一件が不認可と爲ッたので、同舍は大瓦解となり餘儀なく明治十九年の頃渡清を企て香港、海上の間に往來して根據地を神戶に構へ鳴行社の名稱の下に燐寸の軸木石鹼等の商賣に從事した、即ち氏が基督教信者となり禁酒禁煙を決行したも此頃であッて其洗禮を受領し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのは明治二十一年の歳末であるそうだ、扨て當時香港に於て我が燐寸が瑞典製に壓倒せらるゝのは全く其軸木の不良なるが爲である事が分ッたので、氏は早速此の軸木の改良に注目し先づ東北地方では宮城、岩手、秋田、青森の四縣を探檢し、夫れより北海道を跋渉したる結果、遂に良好の原材を發見したので、即ち明治二十二年右軸木製造の爲め一大機械を仙臺石の巻に建設した、然るに不幸は單獨に來らざる西諺の通り先づ此處で一と息といふ場合に二十三年の東北大洪水に遭遇し折角伐出したる材木は太平洋に押流され、百般の計畫は之れが爲め全く一片の水泡と消失せ遂に石の巻の機械も他人に賣渡さゞるを得ざるの悲境に陷りたるは無慚といふも餘りある次第である、

◉賢妻の英斷と苦辛　諺に泣面に蜂も啻ならざるは氏が當時の境遇にして、此の大災難に引續き同年の暮より不圖眼病に罹りたるが是れは全く北海道に於て軸木材料の探檢の爲に雪中視力を過度に使用したる結果の由にて追々重症に陷り遂に下谷の桐淵病院に於て大手術を行ひ、僅に右眼を救ひ得たるも左眼は殆ど失明と爲りたる程なれば、氏は入院前後十ヶ月に亘り生計に不如意を來す場合に瀕したる處、氏の亡夫人には甲斐々々敷も良人養護の爲め自ら奮て日本橋區品川町に於て魚賣を顧客に飯屋を開業し、氏をして病中後顧の患ひなからしめたる其辛苦の程實に想像に堪へないのである然るに玆に尤も吾人の注意を喚起するの一事は元來此種の飯屋營業には酒類販賣は當然の附屬物にして、已に前住の飯屋にも固り酒を賣りたるにも不拘氏の家族が此時總て基督教信者たるので、夫人は斷然禁酒主義を以て營業は單に飯と肴丈けにて酒類は一切賣却しなかつたといふ、蓋し東京市中廣しと雖ども禁酒の飯屋は徳川氏入國以來此の小林飯屋の外には未だ一軒も開店せし事は有之間敷思はれるのである、（未完）

記者曰く小林夫人が一婦人の身を以て此の東京の眞正中に於て而かも『酒めし』の熟語慣習を打破して此等下流社會の顧客を待遇して其良人に給資する迄に成功せしは、其勇氣と手腕の程唯々敬服の至りに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

堪へない、之を彼の有髯男子にして戰々競々商賈上に禁酒を忌憚する輩に比すれば其相懸隔する霄壤も啻ならずである、想ふに小林氏が禁酒禁煙主義を標榜して悠々實業界に濶歩する所以の者は必ずや亡夫人の遺風與て力あると言はざるを得ない、

小林氏が眼病平癒後肉體に於て光明を暫見すると同時に氏の事業上にも一道の曙光が閃き初めて今日の盛運に達したる順境談は次號に縷述するを熟讀すべし、寄語す、實業志願の青年諸氏よ、右の逆境談を玩味して牡丹餅は決して棚から自然に落つ可き者に非ざるを了解せらる可し、

水仙花

百合子

「伯父さん之の可愛らしいよい薫のする水仙の花はね僕が昨年友だちの處から一株いたゞいて丹精して咲かしたものです、僕はねまだ小さいから伯父さんなんか入らじやる處へ行かれないのだからよそのお叔母さんに頼んでお屆なさいと母樣が仰しやるのです、僕ね何だか分らないけれども叔父さんが可哀さうだと思ふの、おぢさんの處は暗い寒い處ですつてね、早やくそんな處を出て僕の家へ入らしやい母樣もさう仰しやいました、入らしやれば親切にして上ますからきつとです、待て居ります、僕の處は封筒にかいてあります神樣はいつでもお叔父さんをお守り被下ます、さよなら、

小川幹雄

伯父樣

呉り返し〳〵この幼い手跡の手紙を見てはてはどんよりとした眼に涙は一パイになり深き〳〵嘆息をして居る一人の囚人がありますその傍には床しい匂を放つて少し頭を傾げて物言ひたげに一枝の水仙花が可愛い瓶にさゝつて横はつて居ります、如何なる怖ろしい罪の報か、此の囚人は身には柿色の襟に十五番としるした囚服を纏ひいつ櫛つたのか頭髮は宛然蓬の樣顏面も手も青さめてこれでも血液の循環があるかと思はれる樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に眼は光も生氣も失つて失神した樣若し此手紙の主が一眼でも見たならば多分氣絶でもいたす事でせう同じ人間でも斯樣な運命になやむ人もあるかと思ふと何だかこう情けないやうに思はれます、今囚人は水仙花をとりあげてなつかしさうに眺めて居りましたがすぐまた今の恐ろしい境遇でも思ひ起しましたのか土より冷い頬に瀧なす涙を拂ひもせず遂に耐えがたくなりてか地に伏して聲の限りに絶叫ました、折しも家外は針の樣に嚴酷い木枯が吹きすゝんで幾百年か齡もしれぬ神々しい杉の森を訪れ遂にはいかめしく聳えて居る煉瓦造の建物をも倒れよとばかりミシリ／＼と梢の音も凄然く天地は怖ろしき魔にでも襲はれいるかの樣一十五六歳迄は榮譽榮華の中に育てられ父母の勿躰なきまでにいつくしむ慈愛にほだされ一村の人々には坊樣若樣とかしづかれ天地に之れほど幸運なお子はなきよと羨まれた森下晉作の今の境遇こそ哀れにもまた怖ろしう御座います十七歳の時母に分れ翌年また父を亡くした時から魔の神は此の青春のなにも知らぬ世間なれぬ少年を飜弄び始めました、限り知られぬとうたはれた財産は腹黒い親類の輩に自由にされ僅か二年と立たぬ中に幾十代か榮えに榮えし森下家の柱石は動き出してモー如何する事も出來ないやうになりました、溫室のうちに育てられた花のどうしてあれすさぶ木枯に堪へる事が出來ませう忽ち凋みはてゝ遂には自暴自棄になつてそれよりは出來る限の惡を働いて村の人の憐も遂には惡しみとなつてとう／＼浮草の根を絶えた浮浪の身となりました魔の神はだん／＼とこの弱い青年を導いて法律上の重き罪人として鐵窓の内に放り込みました、眠れば常に昔の樂しかつた暖かい家庭のうちに榮譽を味へ醒れは犯した罪に良心の苛責と煩悶に身を削り血を吐く思をして三年間はモー夢のやうに過ぎさりました、誰れとて慰問めて呉れる人もなくまた怒つてくれるものもなく全く此世から見捨られて失望と悲嘆に幾度か自殺を計てた晉作今は心の奥の奥に一點の光明を認めました樣になりましたのは二週間程前より一人の若き傳道婦が時々見舞つて呉れて出來る限け慰

めもし勵もして吳れまた聖書の物語などもしてくれましたが始の中こそ耳にもかけませんでしたがだん〳〵と其人の親心に耳を傾けるやうになつて參りましたからで今もこのやさしい潔い罪もない見もしない小供から花まで添ふて自分のやうな大人しかも誰れもふり向きもしてくれない非人をかくもやさしく自分の出獄た後は家に訪ねてこよとまで：：嗚呼自分も曾てはこの花のやうに汚もなく白くて床しい匂のある小供であつた彼の情深い小供が自分に送つて被下つたのは此花のやうにやさしく潔くなれとの意味であらう言葉は拙ないが眞心から自分を慰めてくだすつたのは神樣の御さとしてであらうモー自分は決して古き罪を繰り返へすまい出獄したらきつと其言葉に甘えて花の主を訪ねませう自分は一度は死んだもの、而して今はこの手紙この花によつて復活つたのである而して其手紙の終りに書いてある樣に神樣はきつといつも守護て被下にちがひないと初めて喜の光が顏面にあらはれました、

今日は數月前に自分が送つた水仙を受けた伯母さんが訪ねて來ると云ふので山川幹雄の喜びは一通りでは御座いませんこれも親切な愛深い母樣は幹雄と一緒に澤山御馳走などして午後の二時を待ち遠しく思ふて居りました、まだ見ぬ人ことに世間の人が排斥する囚人をかくもやさしく待ち詫ぶるとはそも如何なる人の家庭でせう、神を敬ひ人を愛する人々によつてたてられたる家庭（スヰートホーム）であります十七年のこの方心よりの喜を以て迎へられた事のない音作は初めて神樣にでもあつた樣に不思議な程親切にもてなされていつまでも此家の書生として愛情に富める夫人雄々しい幹雄に役へる事となりました今は彌生の初め櫻の花は彼方此方に綻びそめて世は暖き長閑な春に憧憬る頃となりました。

靑年欄

○山梨靑年部

愛する諸姉方には定めし御よろこばしき年を御迎へ遊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばされし御事とかげながらよろこび居り候次に當會員も皆々神の御めぐみの許に幸なる年を迎へ候間御安心下され度候

さて此度はいさゝか誌面を拜借致し當會の模様を御知らせ申す事となりしは誠に〳〵よろこばしき事に御座候毎々所々の御報告を拜讀いたし候實に感佩のほか無之候當會は至つて微々たるものに御座候へば何卒其御心以て御よみ下され度候

さて當會にては毎月第三水曜日に例會を開き青年部に付き研究致し居り候去る十二月は最後の例會なりし爲と冬期休にしてしかも新年には種々誘惑の多き折なればとて決心して入會せしもの十五名有之候其姓名は左の如し

須田よしえ	北原たつ	中村咲
田中としえ	盛田きよ	廣瀬百代
橋田とみよ	市川よじ	大屋はまじ
志村やえ	淺川まつえ	安藤せん
松浦しづえ	小川さよ	天瀬きよし

常は別にこれと申す目ざましき働きも致さず候へども花の課に於ては昨年十月花束を携へて二三の病院を訪問せしに意外の好結果を得候て一病人よりは手紙に左の如き歌をそへて感謝し送られたり

天津御神の　賜はりし
いとすこやかの　我が躰
聖き御旨に　打ち叛き
日々招く　いたつきや
身のあやまちを　今ぞ知る
寢臺の上に　仰臥して
眠れば夢は　神の御罰
起きては憂ふ　病苦の責
嗚呼何に由て　我れは安く
國年の起か　否な〳〵
みどりめの　やさしの心
否な〳〵さにあらずさにあらず汝が心に憂ふる勿れ
神を信じ亦我を信ずべし
御旨の程を　口吻さみ
まなこ閉づれば　いつしかに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病苦煩悶　消へ失せぬ
目醒めては　給はりし
一瓶の花　艶麗
香はしく　やさしさ
我れは是に由て　安んぜん
神の御前に　懺悔せよ
神は其の罰を　問ふまじ
即ち神を信じ　亦我を
信ずべし　嗚呼
送られし其の花よりも
　送りたる
人の御心床しかりける
給はりし色香床しき
　其の花の
病の憂さも忘れはてつゝ

尚其後も其働きを繼續し同じく十一月三日（天長節）以前の如く病院を訪問せしに是又好結果を得候

十一月の例會に於ては新に風俗課を設くる事に決議し今後盛んに美風の行はれん様に相つとめ居り候

又十二月にはクリスマスの贈物として二三の病院に蜜柑を岡山孤兒院及當縣水害地へ夫々金員を送り申し候

愛する諸姉方にも疾より新聞紙上に於て御承知の御事とは存じ候へども當縣の水害は誠に非常なるものにて土地によりては今尚ほ其職を得ずして苦しみ居るもの多しとの事に御座候間諸愛姉様方にて何なりとも御不用の品々有之候はゞ御めぐみ下され度切に願上候もし御同情を以て御寄附下され候節は當會宛にて御送り下され度候

第百廿六號の飯田町通信にて守備兵に古新聞など御送附なされ居らるゝ事を承知致しなほ所書までそへあり候間誠によろこばしく早速古雜誌數十冊を送り申候終りに會員皆々様に御願ひ致したきは當會は極く幼稚の事とて如何様に働き候て宜しきものにやそれすら辨知せざるほどに御座候へば何卒〳〵御教示下され度御願申上候

先は報告のみ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年の感

有志者

回轉々々又回轉、然して大地球の形體は永刧變せず。來り、去り、迎へ、送り、然して地球の表面に存在する物躰は分時秒時に遷りゆく。來れば即ち迎へて一年間の生氣を吸ひて、計を元旦になし、汚濁の中に惑溺せる心身に新生命を與へて眼前に横はる仕業に向ひ活潑なる所作を施すべく、あるひは遠きに望まるゝ大なる苦痛に到達するを憂慮して躊躇かず、過去に於て附與られたる教訓と將來に指示されんとする光明とに頼りて勇進奮勵一日々々を偉大なる嚴肅なる歡喜と共に迎へずんばあらず。

既に歳の去るに當つて之を送らんとするや想はざる可からず、顧みざる可からず。一年間それみづからは純白無垢なるべきながら我等の罪惡過失によりて永久に染められ終に抹消すべくもあらず、世人戰々兢々の夜後を「來らんとする年」に托して徐々立去らんとする刹那の合圖の鐘百八を聞かずや。あゝ世よ、人よ、何とか觀する、何とか顧みる。一年間は長し、また短かし。然怠惰の日は長く勤勉の日は瞬時の思するに非ずや。然も長きは倦厭の情を起し易く、短かきは愛情の思あるを。

地球の大盤石は永久に變移せず。斯くの如く我等の心の基礎なる「神を認むるの位」はとこしなへに渝らず、然も如上の信をして信の儘にあらしめず、之に加ふるに、地球上の物體が分時毎に進化しつゝある如く我等の精神の努力、身體の勞力は恒に神の是と認め給ふ眞善美に向上せむことを之れつとむべきなり。

矯風會通信

本部通信一月十五日午後三時常置員會を兼ね新年新睦會を女子學院に開く會頭司會のもとに祈禱の後ち直ちに議事に移る可決せし件左の如し

一、二月十四日ウヰラード嬢紀念演說會を神田靑年舘に開催する事辯士幷に凡ての準備係は矢島横倉の兩

姉に托する事

旭川支部の陳情書に對し本部極力運動に盡力する事

一維持會員募集勸誘委員撰定（姓名は次號に）勸誘書草案を小崎弘道氏に一任する事

一交際課の働の一部として外國貴賓接待の方法につき他の婦人の各團體と提携して之を研究する事之が交渉委員會頭、小崎姉ミセスボールス、ミスハーグレブス横倉姉とす

右終りて新睦會に移る各自胸襟を開きて會の發展本部事務所設立の事其他雜談をなし會頭の好意になれる晩餐を供し散會せしは午後六時半なりき當日は朝來の大風雪にて出席者少數なりしは甚だ遺憾なりき

○麹町支部　十二月十三日午後三時麹町區女子學院に於て忘年會を兼ね例會を開く年末の際とて會員諸姉の出席如何にと危ぶまれしも天父の御導きと惠により來り會する者三十餘名やがて席につき讃美聖書朗讀祈禱を以て開會書記會員の點呼をなし前會の記録を朗讀すついて不快の爲め暫く茅ケ崎に靜養中なりし矢島本部會頭には滿面に笑をたゝへて過去一年間の經歷をのべ且つ靜養中の處感等ヨブの歷史を引用していと懇に人間は常に感謝して神の與へ給ふものまた取り給ふたものを滿足して受けまた之を返へし平和と喜の生涯をいたしたきものとすゝめられ一同大に感ずる處ありたり次に本部衛生課長大關和子姉は立つて同姉信仰の經歷談とも申すべきを涙ながらに語られ之れまた不尠會衆を益せられたり主の祈を以て閉會後ち會員諸姉の手になる晩餐を喫し引き續き青年會館に開催せられし矯風會大演說會に打ちつれ出席し此處にてまた溢るゝばかりの賜物を得靈も肉も快く感謝に滿ちて散會せしは午後九時頃なりき

○芝支部　去る十四日土曜日三田四國町根本とく子姉宅にて當支部創立第二週年紀念會を兼ね例會を開く來會者廿二名

當日は午前十時開會の豫定なりしも都合により午前は各自懇談に時を移し根本姉の厚意の手になれる晝飯或姉妹の寄贈せられし菓子果物等の饗應あり食後

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讃美、祈禱を以て開會書記の前回の記錄朗讀ありて役員改撰を行ふ當撰者左の如し

會長　矢島民子姉
副會長　中村みほ子姉
書記　飯島かね子姉
會計　根本徳子姉

議事

一京橋にては未だ支部の設なき故當分芝支部に加入致たしとの申出に對し當支部は喜て京橋の姉妹方を受け入るゝとに決す(但し京橋支部設立迄)

一舊會長より本會は實力に比して課の數多きに失し有名無實の課多き故一課或は二課として全會力を之に集中して働く方寧ろ得策にはあらざるかとの議案を提出せられしも重大の問題なれば新會頭始め各自熟考して次の例會に於て議せんとに決す

一前副會長は從來本會の財源の皆無なるを憂ひ或事業に付取調べ中なりしも結極其成功の見込不充分なれば先づ中止すとの報告あり此目的に就ても次回迄各自熟考するとに決す

一本會の次の例會を二月に開くとす

此日出席を約せられし會員の數は多數なりしも早天よりの強風の爲め來會者の數を減ぜしは誠に遺憾なりき主の祈を以て閉會せしは午後二時半なりき

○大阪支部　一月四日午後二時より浪花教會に於て新年會を開く森山夫人(傳道課長)の司會にて讃美歌聖書祈禱の後約翰教會の早川牧師は二回傳道局の用務を帶び臺灣へ行かれたれは同島の地理、沿革、人種より宗教の事に及び傳道に必要なる白きリボンを引きのべて同島に及び種々の惡習を去り新領土に眞に我同胞の人道を行ふ樣に導くの大切なる使命は懸りて我儕の双肩にあることをきゝて大に勵され只聽衆の少なかりし丈けは遺憾なりき來會者三十名たり

入會者

牛田つる　野澤民子　崎山とく　松下たつ
金澤幸松　池龜壽　池袋時子

會報

目下日向國都城町池袋時子方に靜養中なる川口教會員松内昕子は病氣

殆んど全快優渥なる主の御恵みに愛姉方の祈禱同情の厚きを感謝す
副會頭長田夫は昨冬三回の手術を受けられ實に忍耐強き性質は顯はれ
目下今橋三丁目緒方病院に在らる同姉のため祈禱せられん事を乞ふ

婦人ホーム　クリスマス

一月十六日
中之島婦人ホームに於て開く

十一日頃から毎日指折數へ樂んで待つて居りました今日こそは眞の休み一年中の樂しみと主人より暇をもらつて集ひ來りしホームの出身者は卅餘名ホームにては心一ぱいの用意を整へて待受けの席に並び會合せしは四十名、矯風會よりは代表者として伊東、深澤の兩會計に林會頭出席して主人役を助け手製の折詰に愛を籠めたる饗應は十二分の滿足を與へ會後主任は一々紹介なし一旦手にかけし娘の名は忘れませぬと年に似合はぬ記憶の强さ、讃美歌を唱ひ祈禱の後、林會頭はペスタロチー忠婢の傳をひきて各其主人に將た勤務に忠實なることは如何ばかり貴き働きなるかと懇々話されし林主任はどうぞホームから出た人はよい働きをして下されと眞心籠たる切なる勸め耳傾け居りし年上が覺えず小聲に誰が私達の事をこんなに思ふて下さるかと洩せば皆々眞に然りと贊同の心は深く顏色に現はれたら用意の福引に移れば滑稽極まる趣向もありて終りし折しも只今田舍より老爺が孫娘を尋ねて來ましたと打通せば思ひもかけぬ林主任が赤ズボンで老爺に扮裝して並居る中に孫娘は居らぬかと見廻す内に奥田事務員が其孫娘となりて出て來り面會の處皆々腹を抱へて大笑ひかゝる遊び始まりしが主家夕の御用には事欠かさじと急ぎ別れを告げてかへりぬ費用はホームの友の積立會費にて辨じぬ、昨年五月地久節の日開始以來手に懸けたりしは百名に超え今市内に勤續してクリスマスの招待を受しもの三十九名今年は尚一層良き働きをなし得ん事をいのる

○堺支部新年會　一月十六日午後一時半より日本メソヂスト堺教會に於て新年會を開く來會者二十二名赤澤よし子の司會により讃美聖書朗讀祈禱等捧けられ續て鈴木牧師の勸話あり矯風問題に付種々懇切に教訓を與へられ各自新年の覺悟を深く明確にせられたるが如し終に讃美歌を唱し次て五六の姉妹此覺悟の實現せられんことを祈られ主の祈もて感謝の中に閉會せり

○青森支部　一月十五日午後一時半より大工町教會牧師館にて例會を開く佐々木會長の司會にて讃美聖書朗讀祈禱の後早川牧師の勸話あり後ち同氏の祝禱にて一先づ會を閉ぢ引續て新年親睦會を催す茶菓談笑の下に各自思をこらして持參せし福引は始れり種々新案のものありて面白き内にもオールドミスとて豌豆の（緣遠）の當りし時の如き老も若も一同に笑ひさゞめきたりかくて久しく眠の内にありし我青森支部も新年と共に大に活動せん事を約し各々喜に滿ちて散會せしは四時頃なりき此日集會者二十余名

猶來月の例會は（ウラード孃の紀念日）即ち十七日に於以美教會牧師館に開く事に決したり

○前橋支部　十二月二十三日午後七時松宮信子姉宅にて役員會を開く議決せし件、一、正月十一日午後一時例會に代へて新年會を清心幼稚園にて開く事、一、演說を堀牧師に依賴する事、一、訪問委員を堀、花崎兩師に、茶菓係りを松宮はる子姉に餘興係りを松宮信子正木兩姉に依賴する事、

年立ち返へる新玉の年のはじめに盡きぬ心のよろこびを得んものと開會十數分前より三々五々つどひ來たりし日頃親しめる諸愛姉と例にならひて堀會頭の司會の許に溫かき集を讃美九十三もて清心幼稚園にて開きし事のうれしさ續いて堀會頭の詩篇百四十六篇朗讀、祈禱、松宮信子姉の記錄朗讀花崎姉の會計報告ありて後堀牧師の演說は始まりぬ例の快談なる活氣あるしかも眞面目なる辯舌は―或は宗教傳道の側より或は社會事業中よりの各多方面に渡りたる例を引きて此矯風事業の必用と神に對し社會に對し又各個人に對しての爲すべき責の多きを述べられ確き決心は成功の始め」てふ格言の通り決心確ければ成功は必らず疑ひなし故に此矯風會の如き會員一同心を一にして精神の修養をなし神と共に正義を的として昨年に比して今一層各方面に眞面目に活動せられん事を望む」との御話しは我等會員に大なる獎勵と勇氣とを與へられし事を思ふて感謝に堪へざりき次いで二名の熱心なる祈禱主の祈を以て一先づ會を閉ぢ後樂しき笑ひの中に茶菓を共にし二

三の無邪氣なる餘興等ありて後散會せしは午後四時集會者約三十名なりき。

○横濱支部　一月廿日午後一時より大橋しげ子姉宅に於て定期總會を開く

讃美歌を以て開會司會者二宮姉の詩編五十一編朗讀祈禱に次て會計書記の報告あり會頭には本年度に於ける働に就きて懇切に一場の希望を述られ其より直に會頭副會頭及び役員の改選に移る

一會頭　二宮姉、從前の通り　一副會頭　雪野姉仝上

一書記　大橋姉 安藤姉　仝上　一會計　北島姉 石川やう姉

一幹事

井深とせ子　石井きよ子　林　たれ子　西崎あやの子
加藤とみ子　金田ぎん子　高木こう子　中村とよ子
小澤きく江　神保榮子　有馬なか子　毛利かほる
河田のぶ子　八月ツナ子　里吉きん子

當日の出席者

河田のぶ子　寺本かれ子　高木こう子　北島ふさ子
小澤きく代　二宮わか子　林　たれ子　金田ぎん子
井深とせ子　大庭はま子　西村きく子　加藤とみ子
毛利かをる　雪野勇子　中村とよ子　石川やう子
安藤まさ子　大橋しげ子　茨木さと子　中山とめ子

右了りて親睦會に移り同家夫人の心づくしの御もてなしに預り一同よろこびの裡に四時散會す

四十年度報告

一本會々員總數　八十三名
一入會者　三名
一退會者　十二名
一現在會員數　七十二名
一例會を開きし數　九回
一總會　一回
一特別集會　二回

役員	姓名
會頭	二宮わか子
副會頭	雪野勇子
書記	大橋しげ子
仝	安藤まさ子
會計	北島ふさ子
仝	石川よう子
幹事	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

井深とせ子　石井きよ子　林　たれ子　西崎あやの
加藤とみ子　金田ぎん子、高木こう子　中村とよ子
小澤きく代子　神保榮子　有馬なか子　毛利かなる
河田のぶ子　八戸つな子　里吉きん子

各課委員姓名

一傳道課　林姉　神保姉　河田姉　二宮姉　小澤姉　有馬姉　毛利姉　加藤姉
一花の課　石井姉　岩間姉　茨木姉　里吉姉　中村姉　大橋姉　井深姉
一交際課　雪野姉　石川姉　北島姉　餘倉姉　中村姉　金田姉　八戸姉　安藤姉

○羅府婦人矯風會　去る八月十六日金曜日午後三時よりベツレヘム教會附屬部に於て第三母ノ會を開催せしに會する者小兒共約三十名にして近頃になき盛會なりしはげに喜ばしき限なり當日出演せられしは協議會幹事馬場氏及小室牧師なりき
今其の順序を示さんに堀見會長司會をなし一同の讃美祈とうの後馬場氏は「子女の教育」と題し子女に對する母親の心得敎育及覺悟等に分ち凡べて母の幼兒に對する義務につき懇々と說かれ少なからざる益を與へられ次に小室牧師にはいとおごそかに進み出て第一に語られしは此度馬場氏の發企に依りて此處に婦人ホームなる者產み出しを祝すと述べ續て同牧師には婦人に三つの守るべき事がある夫れは
第一母の躰を健全にすべきと
第二智識のある母
第三母の德
と題し氏の明斷なる辨と論據ある主義とを以て右の三個に付て實驗談をも演ぜられしが孰れも婦人に必要なる事とて來會の婦人に尠からざる裨益を與へられ殊に同所は同胞婦人の集會所にてあり又多くは馬場氏及山本夫人の盡力にて新らしき參會者多く一同兩氏の演說に耳傾けられしは今後の母の課發展に就き大に注意すべき現象なりと信ずると共に會員なる私は矯風會々員一同に代り兩氏には繁忙中斯く出演せられしを多謝するの外なし
後一同讃美歌を捧げて會を閉ぢ親睦會に移り茶菓の饗應ありたり尙集會には山本夫婦の敎授せられ居る小兒の多き事とて非常に賑はしく實に母之會にてありしを共に語らひ一同はよろこびの色にみち再會を約し散

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會せしは五時半頃なりき

アンバーソン嬢と送別會

美以教會及婦風會々員として多年在留同胞婦人に無給にて英學を教授させられし同嬢は今回北部にある母君の請に依り近々の内一先歸國せらるゝとの事にて去る八月十九日月曜日午後三時より美以教會内に於て兩會聯合して送別會を開催せしに來會者六十余名にて小室牧師司會となり日英の兩語にて開會の辭を述べ次て

開會の祈とう　染舘氏
婦風會代表　堀見小笑子
美以教會代表　鹽谷氏
答辭　ミス、アンダーソン

後讃美歌を以て閉會夫より同教會前にて一同紀念の爲撮影し再び席に就きアイスクリーム、ケイキの饗應ありアンダーソン嬢の獨吟諸兄諸姉妹の合唱等ありて後同嬢と惜別の言葉を交換し散會せしは五時過なりき

十一月二十八日感謝日を好期とし本會親睦會を催し會員諸姉手製の晩餐を名譽會員一同に饗せんとて同午後六時より美以教會内に於て擧行せられしが名譽會員の多くは各教會に屬しあやにく其日は各教會にも親睦會を開く事とて出席者の程もあやうく思はれしが時刻に至りし頃は五十五名に達し軈て六時の鈴と共に一同着席卓上には前日來より諸姉の手になれる日本流の料理は整然と飾られ到る處に花を盛りし様いと美はしかりき今其の大略を示さんに

司會者　堀見會長
讃美歌　一同
祈とう　稻澤牧師
會開の挨拶　堀見會長
過去一ヶ年間同會經過の報告　池内種子

等ありて宴に移る小室、稻澤、小林各兄姉の感話ありたり餘興として蓄音器、詩吟、池内種子のヴワイオリンの獨奏等ありて近來稀に見る盛會なりき各自充分の快を盡し散會せしは午後九時

新入會員として入會されたるは小林誠、隆辻政八、伊藤、大洲五郎、鹽谷重次郎、三上勇の諸氏なり

○羅府支部　去る十二月一日午後三時より協議會事務

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

所に於て例會を開催せしに今回は久しく多忙の爲出席する能はざりし當會々員にして白婦人青年會の書記なるミス、ストヲン、ベツレヘム教會のミセス、ハリソン並に病床にありし山本夫人方の來會せられし事とて集ひの者多數にして常になき賑はしさ互に温き愛を以て親しく談話せられしは實に樂しかりき今其の順序を示さんに池内種子司會の下に

讃美歌　一同
祈とう　堀内種子
聖書朗讀　一同
同講話　堀見小笑子
感話雜感(十二ノ九以下)　池内たれ子
同　堀見小笑子
同　馬太(十一ノ一)　ミス、ストチン
會計報告　仁田清子

雜事相談ありし後讃美主の祈を以て散會せしは午後五時頃なりき

因に記す　明三日午前十時よりテンプル、ホールに於て當部白婦人婦風會役員會を催すとの由

去る十二月十四日午後二時よりベツレヘム教會附屬婦人ホームに於て本會第七母の會を開催せしに來會者小供共約十七八名にして司會者堀見會長例の如く讃美祈とう聖書朗讀の後堀見姉は(羅可一章以下)に付て感話せられ續いてミセス、ハリソンの最も有益なる感話ありて通譯として堀見會長其勞を取られたりしが此の熱心なる感話をうかがひし吾々姉妹は如何に責任の重く且つ社會に立ちての働きの多きかを今更の如く覺り大に勇氣と決心とを與へられたり後讃美主の祈を以て閉會續いて茶菓な饗應ありて一同喜悅の内に散會せしは午後五時

○雜誌代領收

一金十圓也		(十一月迄)	麹町支部
仝	七十錢	(十二月迄)	竹内彌平君
仝	七十錢	十二月迄)	磯野ぎん子
仝	七十錢	(四十年六月迄)	磯野ぎん子
仝	十圓	(四十年六月迄)	東京聯合支部
仝	七十錢	(四十一年十二月迄)	ローレンス氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丹野房子譯

ジョウコールの話

定價二十錢　郵税四錢

本書は甚だ忠實にして機敏なる少年が富家の給仕に住み込む面白き手續き及び彼が首尾よく給仕となりて後思ひ掛けなき奇禍に罹りしも運よく危機一髪の間に其生命を恢復せし極めて興味深き讀物なり今日の如く個人の風儀甚だ惡しく所謂奉公人根性に充ち滿ちたる者の多き時に當りて此の如き書を讀むは其愉快なること實に謂ふ可からざるものなり

リウイスワレース著
宮田了山譯

ベテレヘムの廐

定價二十五錢　郵税四錢

泰西にて有名なるベンハーと題する書中に其基督降誕の時に際し三人の博士等が如何にして東方より來りしか其顛末を詳記せり本書は平易たる美文的言文一致體にて之を記述せしものなり之を讀むに興味津々として盡きず。何人も之を讀み終るまでは卷を掩ふこと能はざる可し乞ふ愛讀を賜へ。

曉天

定價二十錢　郵税四錢

此書は小兒の爲に世界萬物の創造及び基督の傳を解り易く書きたる者にして日曜學校生徒等の參考に資すべき稀有の珍書なり。

童蒙基督傳

定價五錢　郵税二錢

此は表題の示すが如く小兒の爲に極めて簡短平易に書き綴りたる基督の傳にして日曜學校生徒の教科書若くは參考書として甚だ有益なるものなり。此の如き書は世に其類稀なり。是れ弊館が之を江湖に推薦せんと欲する所以なり。

バチラー、オブ、デヴインチ
レマスター、オブ、アーツ　小畑久五郎先生說教

◎十字架の道

定價二十錢　郵税二錢

小畑先生は十餘年間米國に留學して神學文學を研鑽し歸朝後青山學院神學校に教鞭を執り且つ學院教會を牧し純正福音の傳播に鞅掌し居らるが近年我邦基督教の漸く非福音的となれるを慨し玆に昨年一月より前後八回に亘りて十字架に關する諸要點を說教し基督教の根本的眞理を闡明せられたり弊館先生に乞ひ右說教原稿を修補して一册となし出版する事となれり願くば教界の諸彥速に一本を購求ありて贖罪、救拯、慰安、幸福の道を深く味ひ玉はん事を

アトキンス氏著大谷虞君譯

◯兒童の宗教

定價四十錢　郵税六錢

シエルドン原著
美山夫人
田中榮子　兩女史共譯

◯七日間

定價三十五錢　郵税四錢

トランベル氏著櫻井成明君譯

◯日曜學校教授法

定價三十錢　郵税六錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○新刊及重版書○

星野光多君篇

基督教叢書

△**基督教辨證論** 有馬純清君著

△**基督教本原眞理** 露無文治君著

△**基督の比喩** 八濱徳三郎君著

△**舊約聖書文學一斑** 今泉眞幸君著

定價各二十錢 郵稅四錢

△**可林多前後書講解** ラールネデ博士著 大宮季貞君筆錄 以下順次出版
定價一圓七十錢 小包十二錢

△**聖書餘芬** 齋藤弔花 宮野朧村君合著
同二十錢 同四錢

△**懺悔錄** アウカスチン 宮崎湖處子君譯 初版賣切再版發賣
上製八十五錢 並製七十錢 郵稅各八錢

△**國體と基督教** 海老名彈正君序 渡瀨常吉君著 初賣版切再版發賣
同二十五錢 同四錢

警醒社書店編纂

△**日々の生命** 一ヶ月分 杜掛聖書
同五十錢 同八錢

△**巡禮紀行** 徳富健次郎著
同八十錢 同六錢

△**傳道旅行** 一世界一週 木村清松君著
同五十錢 同六錢

△**基督の靈訓** 宮川經輝君著
同十錢 同二錢

△**基督の人訓** 牧野虎次君著
同十錢 同二錢

△**基督の聖訓** 宮川、牧野兩君著
定價郵稅共五十錢

△**日本古代史と神道との關係** 久米邦武先生講述
定價郵稅共五十錢

△**耶蘇の時代** 原田助君譯
同六十錢 同八錢

△**箴言講義** 湯淺吉郎君譯
同五十錢 同六錢

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 **警醒社書店** （振替貯金五五三番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA